

火山噴火予知連絡会会報

〈第 10 号〉

昭和 52 年 9 月

気 象 庁

火山噴火予知連絡会会報原稿提出要領

連絡会会報に掲載のため提出する原稿は、下記による。

記

1. 原稿は400字詰原稿用紙を用い、横書きにし、漢字は当用漢字、仮名は平仮名、外国語は片仮名又は原語を用いる。
2. 標題、報告者名及び図・表の説明文などは和文のみとし、欧文は付けない。
3. 図・表の挿入箇所・縮率などについて、必要あるときは原稿に赤字で指定する。
4. 参考文献は本文中では^{1),2)},...と肩書し、本文末尾に下の例のように文献を列記する。

参 考 文 献

(例)

- 1) 大 森 房 吉 (1 9 1 0) : 浅間山噴火に就きて、農彙報、67、1~26。
- 2) Imamura, A. (1 9 2 0) :

5. 編集及び校正は、提出された原稿に基づき、連絡会庶務が行なう。

目 次

海上保安庁水路部：南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について	1
文部省総合研究班：硫黄島南方海域海底火山活動調査	4
東京大学理学部地球物理学教室、京都大学理学部火山研究施設： 日吉沖の場、福徳岡の場における海底地震観測	8
東京大学地震研究所：1977年2月の浅間火山の群発地震について	12
東京大学地震研究所：霧島火山の地震活動について	15
気象庁地震課火山室：昭和52年3月、霧島高千穂河原における臨時地震観測	17
気象庁地磁気観測所：桜島における全磁力変化	21
東京大学地震研究所：伊豆大島の地形変動と温度測定	24
気象庁地震課火山室：全国の火山活動状況	29
第9回連絡会議事録	35
連絡会庶務メモ	37
原稿提出要領	表紙裏